

# ブルノ自転車展示会 (BIKE BRNO) 参観報告 及びプラハ市内自転車小売店調査

## 1. ブルノ自転車展示会 (BIKE BRNO) 参観報告

チェコ第2の商業都市ブルノにて、毎年11月に自転車展 BIKE BRNO、スポーツ・健康用品展 SPORT Life、プレジャーボート展 boat Brno 及びキャンピングカー展示会 Caravaning Brno の4つ展示会が合同開催されている。その中でも BIKE BRNO は、展示面積でも最大を占める主要展示会である。全催事の出展者・入場者数は前年を上回り、地元有力スポーツ車ブランドを抱え、未だ経済不況に苦しむ中東欧地域の自転車展として健闘したといえる。

### 【BIKE BRNO】

主催： BVV Trade Fairs Brno

会場： ブルノ見本市会場 (Brno-Exhibition Center)

会期： 2009年11月5日(木)～8日(日)

開催時間： 9：00～18：00 (8日は16：00閉会)

展示面積： 「BIKE BRNO」8,272 m<sup>2</sup>、全催事計19,000 m<sup>2</sup> (昨年21,284 m<sup>2</sup>)

使用ホール：「BIKE BRNO」展示；ホールF、V 電動車試乗コース；ホールP

入場者数： 全催事計60,000人 (昨年45,000人)

出展者数： 「BIKE BRNO」16カ国200社、全催事計19カ国477社 (昨年15カ国458社)



会場入口



ホールVの様子

### 1) 展示会概要

完成車の主な出展者としては、地元の有力スポーツ車ブランドである AUTHOR、4ever、SUPERIOR 及び Pells Bicycles が大きなブースで MTB やロードレーサーなど幅広くスポーツ車を展示し、その他数多くの地元企業のブランドが MTB 等のスポーツ車を中心に自転車を展示していたのに対し、隣国スロバキアのメーカー Kellys Bicycles の展示は無かった。

その他の欧米ブランドでは、アクセルグループからドイツの GHOST、ウィノーラ、HAIBIKE、ヘラクレスが出展していた。また、FELT、ケトラー、ベルガモント、KTM、フォンドリエスト、SCOTT、KONA なども出展し、更に小規模ながらデ・ローザ、チネリ、リエール、リドレー、

BMC 等の高級ロードレーサーや、キャノンデール、インテンス、イエティ、ロッキーマウンテン等の高級 MTB など出展ブランドは充実していた。



**AUTHOR**



**Pells Bicycles**



**4ever**



**SUPERIOR**

しかしながら、2007 年訪問時に大きなブースを構えていたスペシャライズドは規模を大幅に縮小し展示はわずか 10 台程度であった。更にトレック/G フィッシャー、マングース、シュイン・GT、MARIN などは出展していなかった。

部品、付属品関係の出展社では、シマノ、カンパニョーロ、スラム、SR サンツアー、BBB、タイヤのシュワルベ、コンチネンタルなどの他、数多くのブランドが出展されこちらも充実していた。今回は特にウエアー類の出展社が数多く見られ、その至るところでウエアー類の即売を行っており、熱心に品定めをする来場者の様子が見られた。



ウェア即売の様子

米国ブランドが減少した一方、欧州ブランドは同国市場進出の意欲を失っておらず、とりわけ隣国ドイツ企業の出展が顕著であった。経済不況の影響が現在も深刻な中東欧経済下においても今回、出展内容や来場者数が堅調に推移したことにより、同展が今後も中東欧を代表する自転車展としての役割を果たすことが見込まれる。

## 2) 今後の展望

BIKE BRNO の展示 2 ホールのほか、G1 ホールでは BMX のジャンプなどのショーが行われ、更にホール P には電動アシスト車の試乗コーナーが併設されていた。電動車試乗コーナーには、ウィノーラ、ヘラクレス、ジャイアント、R&M、ヘルカマなどが小間を構え、試乗車を提供していた。

しかしながら、電動アシスト車を扱う出展社はまだ少なく、因みにウィノーラとヘラクレスの参考小売価格は 40,000~60,000 チェココルナ（※以下 CZK と表記、208,000~312,000 円）とカーボンフレームの高級スポーツ車並みの価格である。同地域では西欧のような電動アシスト自転車ブームはまだ到来しておらず、これからの普及に向けての活動に着手したところであり、来場者もこの物珍しい自転車を試している様子であった。



電動車出展コーナー



試乗コース

中東欧市場で電動アシスト車普及の突破口として、付加価値の高いスポーツ車需要がある同国市場を見込んでの活動と思われるが、同国ユーザーはレジャーとしてサイクリングを楽しむ傾向が強くスポーツ車、特に MTB や MTB に近いクロスバイクの人気が高く、通勤など移動手段としての自転車の利用頻度は低いためシティ車の需要は薄く、電動アシスト車の価値をどのように訴求するかが、同国での普及の課題と思われる。

来年はブルノ見本市会場にて 2010 年 11 月 7～10 日までの開催予定である。

## 2. プラハ市内自転車小売店調査

### 1) 自転車小売専門店

#### 調査店舗①

同店は、地元ブランド AUTHOR のスポーツ車がメインである。入門車から高級車まで幅広く 50 台近く展示されていた。取り扱い価格帯は、MTB が 7,000～10,000CZK (36,400～52,000 円)、前サスペンション付き MTB は、10,000～20,000CZK (52,000～104,000 円)、カーボンフレームの前後サスペンション付き MTB は、80,000CZK (416,000 円)にも達する。トレッキング車の価格帯は、7,000～15,000CZK (36,400～78,000 円)で 10 台程展示されていた。子供車は、4,000CZK (20,800 円)前後であった。

他に米国のスペシャライズドも 10 台程展示されており、前サス付き MTB は、10,000～15,000CZK (52,000～78,000 円)と AUTHOR より価格帯が高く、2008 年モデルの前後サス付き MTB は、定価 80,000CZK (416,000 円)のところ 50,000CZK (260,000 円)に大幅値下げされていた。

部品類では、特にシマノのパーツが充実し、専用の展示什器とスモールパーツの什器が店舗中央に鎮座していた。またヘルメット、サイクリングシューズやウエア、その他アフターパーツも豊富に揃っていた。

#### 調査店舗②

隣国スロバキアの Kellys Bicycles 取扱店で MTB は 30 台程展示されており、価格帯は 10,000～15,000CZK (52,000～78,000 円)であった。トレッキング車は、10 台程展示されており、価格帯は、7,000～12,000CZK (36,400～62,400 円)であった。



調査店舗①



調査店舗②

### 調査店舗③

自転車は店頭になぜか 10 台程度であった。しかし、ここは小売店というよりも各国の商品を取り扱う代理店のアンテナショップの役割である。今はブルノ展に参加中のため、いつもにも増して自転車は少なかった。なお、同社ではオリジナルブランドのシティ車を 14,000CZK (72,800 円) で販売しているが、他店で売られる地元メーカーの MTB と比べても高価である。他にはプロンプトンの折りたたみ車、ABUS のカギやヘルメットなどを扱い、更にパンサーの E-バイクやシュインの電動アシスト自転車も各 1 台展示されていた。電動アシスト車は、販売価格が 35,000CZK (182,000 円)、1 年間で 10 台程が売れたそうである。



調査店舗③



電動アシスト車（手前）



オリジナルのシティ車



### 調査店舗④

店舗は完成車、部品・付属品、シューズと 3 つの売り場が個別に連なる。地元 Pells Bicycles のスポーツ車が中心である。40 台程の MTB、トレッキング車の価格帯は、5,000～10,000CZK (26,000～52,000 円) の入門車、15,000～20,000CZK (52,000～104,000 円) の中級車に大まかに分かれる。また米国ブランド、マリンの MTB は、15,000～20,000CZK (78,000～104,000 円)、トレッキング車 10,000～15,000CZK (52,000～78,000 円) である。

### 調査店舗⑤

今の時期はスキー、ホッケー等のウインタースポーツ用品がメインで、通年で自転車をメ

インに扱っておらず店頭奥に展示されていた。アパッチというブランドの 10,000CZK (52,000 円) 以下の MTB 類型車が 10 台程展示されていた。スキー靴や板などの中古品も販売しているためか、5 台程中古の AUTHOR の自転車もあり価格帯は、2,000~3,000CZK (10,400~15,600 円) であった。



調査店舗④



調査店舗⑤

#### 調査店舗⑥

スペシャライズドの専門店。MTB は 50 台程展示してあった。100,000CZK (520,000 円) を超える高額品もあり、2009 年モデルは 20~30% 割引販売していたが、それでも 30,000~50,000CZK (156,000~260,000 円) と販売価格帯は他店に比べて全般的に高額である。その一方、2010 年モデルの MTB が既に 5 台程入荷していた。ここには珍しくロードレーサーも 10 台程あり、それらの販売価格は 20,000CZK (104,000 円) 前後であった。同社のパーツや付属品などの品揃えも充実していた。

#### 調査店舗⑦

米国 GT の取り扱いがメインの店舗で、MTB は 20 台程展示してあり、販売価格帯は 15,000~30,000CZK (78,000~156,000 円) であった。前後サスペンション MTB には 50,000CZK (260,000 円) を超える高額品もあった。GT の 2010 年モデルも入荷済であった。

#### 調査店舗⑧

AUTHOR 取扱店で同社の MTB とトレッキング車の 2009 年モデルは、20~30% の割引販売を実施していた。在庫は 30 台程で価格帯は、10,000~20,000CZK (52,000~104,000 円) であった。また、KTM も 5 台展示してあり、価格帯は 20,000CZK (104,000 円) 前後。更にイタリアのウィリエールのロードレーサーも 5 台展示してあり、価格帯 30,000~50,000CZK (156,000~260,000 円) であった。



調査店舗⑦



調査店舗⑧

## 2) 量販店

### 量販店①

プラハ市郊外に位置する会員制の大規模量販店で冬季のためスキーやアイスホッケー用具が置かれていた。自転車の店頭陳列は実施しておらず、3,000CZK(15,600円)前後の幼児用車のみ販売中であった。

### 量販店②（郊外大型店）

チェコに幅広く展開中の外資系スーパーマーケットで安価なMTB類型車が10台程展示されていた。価格は、3,000CZK(15,600円)であった。トイサイクルは、1,000CZK(5,200円)以下の箱に入ったバラ売りでほとんどの箱からホイールのハブ軸が突き出ている。大人車もハンドルステムやブレーキワイヤー類は仮組みつけの状態、購入後に整備が必要である旨の注意書きが売り場にあり、それらの自転車はうっすら埃をかぶっている状態であった。

### 量販店③（都心店）

上記量販店②の別店舗で規模は小さいが市内中心地に位置する。MTB 類型車が10,000CZK(52,000円)前後、ジュニア MTB は 7,000CZK(36,400円)前後、子供車は5,000CZK(26,000円)以下で販売されていた。タイヤ、チューブ、ライトなど必要最小限のパーツ類の販売もあるが、ほとんどは地元ブランドの安価なものであった。

## 3) 大型スポーツ店

### 大型スポーツ店①

郊外のショッピングモール内にあるスポーツ用品店。KTM の MTB の価格帯 10,000～12,000CZK(52,000～62,400円)でSCOTTは、10,000～15,000CZK(52,000～78,000円)であった。取扱商品を有名スポーツ車ブランドのMTBの入門車から中級品に絞っており、MTB 類型車などの安価なものはなく、高級品も置いていない。展示品も20台程と全体の売り場面積の割には少なかった。

### 大型スポーツ店②（郊外店）

欧州全土に展開する大型スポーツチェーン。大型ショッピングモール内にあり、その入口に特売の自転車が20台程展示されていた。更に奥の自転車コーナーには50台近く展示され

ていた。「GENESIS」というブランドのスポーツ車が中心で MTB やトレッキング車は、7,000～15,000CZK(36,400～78,000 円)といった価格帯、ロードレーサーは、20,000CZK(104,000 円)程であった。高級なカーボンフレームの MTB は、30,000CZK(156,000 円)であった。

なお、米国トレックの取扱いもあり、前サス付き MTB は 15,000CZK(78,000 円)から、前後サス付 MTB は 30,000CZK(156,000 円)以上、トレッキング車は 10,000～15,000CZK(52,000～78,000 円)と価格帯は地元ブランドよりも高くなっていた。また、部品、付属品も SKS やヘルメットではジロなど有名ブランドを中心に豊富に揃っていた。

### 大型スポーツ店③（都心店）

上記大型スポーツ店③の別店舗。市中心部のショッピングモールに位置する。同じく GENESIS を中心に 50 台程展示されていた。MTB は 10,000CZK(52,000 円)以下の価格帯、前サス付き MTB は 10,000～20,000CZK(52,000～104,000 円)、カーボンフレームの MTB は 30,000CZK(156,000 円)と品揃えは幅広かった。部品、付属品も子供向けのヘルメットやアクセサリ中心に充実していた。



大型スポーツ店入口



量販店の MTB 類型車

## 4) チェコ共和国のサイクリング事情

今回調査したプラハ市は、同国のなかでも物価・平均所得が高く、上記店舗の販売価格が同国の平均値とはいえないが、同国ではサイクリングは人気があり、自転車小売専門店では地元ブランドのスポーツ車が広く普及しており、その上に欧米有名ブランドの中～高級品も扱われ、今回訪ねた数店だけ見ても微妙に取扱ブランドに差異などがあり、各店の特徴が現れ大変興味深い結果であった。

しかし、プラハ市内は公共交通機関の地下鉄、トラム及びバスが十分に発達しており、自転車は人々の移動手段として殆ど利用されていない。市内にはトラム線路網が張り巡らされ、現在、排ガス規制や数量制限がないため自動車市内に溢れ、道路に自転車の走る場所は少ない。自転車道や駐輪場といった設備も殆ど無く、また、石畳の道路も多く、そのような状況から、人々にとって自転車は日常の交通手段ではなく、シティ車や電動アシスト車はあまり普及していないように見受けられた。

自転車は週末に楽しむレジャーであり、郊外の森などにはサイクリングコースが充実し、それらの未舗装路の走行に適した MTB が人気車種となっている。彼らは都市部の自宅から郊



外まで自走するのではなく、自動車に乗せて郊外の別荘に運ぶためサイクルラックの需要も高い。この余暇の過ごし方は社会主義時代の名残ともいえるが、一部の富裕層のみでなく、小さな別荘で週末を過ごすことは今でも広く一般的である。

以 上

(デュッセルドルフ事務所)